

# リスクアセスメント & 作業手順書

工事名称	2023年度 東海北陸自動車道 高山管内維持修繕業務		作成会社名	中日本ハイウェイ・メンテナンス名古屋㈱
工期	令和5年4月1日 ~ 令和6年3月31日		作成者	加藤博也
作業名称	背面空洞注工	作業手順書	作成年月日	令和2年10月25日
使用機械 使用設備 (具体的な名称・ワ ラスを記す)	トラック架装リフト(幅広デッキ)規格10~20m トラック架装リフト(バケット)規格9.7m 発電機規格2.3KVA グラウトポンプ(ニューロータリーポンプ)規格AC100V		改正年月日	
使用工具、機器 材料等(具体的な 寸法を記す)	サンダー(刃はコンクリート用)、電動ドリル、電動ビック		現場責任者	会社名 自車サイン
保護具	ヘルメット、自発光チョッキ、防護メガネ、防塵マスク、手袋(刃物作業時は耐切削用)		作業順序	
免許資格等 (免)(技)(特)(準特) の区別を記す	自動車運転免許証		1	現地確認
	振動工具取扱		2	準備作業
	運転技能研修 高所作業車		3	下地処理
作業人員 (当作業に關する役 割と人員を全て記 す)	作業責任者 1人、作業員 4人		4	プライマー塗布
	合計 5名		5	不陸修正
作業手順 周知会 参加者 サイン (記録)	作業責任者(職長)	周知会実施日	6	1層目接着剤下塗り炭素繊維シート貼り付け接着剤上塗り
	(役割を確認してこの作業に關わ る全員が自車サインする)		7	2層目接着剤下塗り炭素繊維シート貼り付け接着剤上塗り
			8	表面仕上げ中塗り 表面仕上げ上塗り

リスクの見積り	重大性			組み合わせ	リスクの評価	優先度又は実施担当者
	○:軽微 休業4日未満	△:重症 休業4日以上	×:極めて重大 死亡・障害を伴う			
可 能 性	○:めったに発生しない (5年に1回程度)	○△	○×	○○	1:極めて小さい	関係者に対策の周知
	△:時々発生する (1年に1回程度)	△△	△×	○△、△○	2:かなり小さい	関係者に対策の指示
	×:かなり発生する (6ヶ月に1回程度)	×△	××	○×、△△、×△	3:中程度	職長が確認
				△×、×△	4:かなり大きい	工事担当責任者が確認
				××	5:極めて大きい	十分に訓練をした対策が必要

リスクレベル 5=十分に訓練をした対策が必要 4=工事担当責任者が確認 3=職長が確認 2=関係者に対策の指示 1=関係者に対策の周知

作業項目 (誰が)	手順 主なステップ	急所 作業のポイント	リスクの洗い出し (予想されるミス・ロス)	可 能 性	重 大 性	評 価 点	リ ス ク レ ベル	ミ ス ・ ロ ス	リスクの除去・低減のための 実施すべき事項の特定 (防止対策)
高所作業(機械作業)			構造物にぶつける 構造物と作業車に挟まれる 身を乗り出し転落する 高所作業車が転倒する						
現地確認(全員)	作業箇所確認	危険ポイントの確認							
	周辺安全確認	構造物の確認							
準備作業(全員)		健康状態の確認・免許・資格等の確認							
	ミーティング	健康状態の確認 免許・資格等の確認							
	車両の点検・準備	車両の始業前点検、 工具の確認							
	安全施設損傷対策	埋設物・ケーブル・交通安 全施設等の位置確認	多分大丈夫、届かない、触れないなど思い込 み作業	○	×	○×	3		土壌等による防護を実施。防護が出来ないものについては、 テープ等により目立つようにする。
下地処理	施工範囲をマーキング	高所作業車で危険行為に 注意	道具等の落下に気を付ける	×	△	×△	4		道具の落下防止対策をしっかりと行う
	ケレン	ディスクサンダーの使用に 注意	頭上でのけれん作業になるため粉塵が顔に かかる	×	○	×○	3		防塵マスク、防塵メガネの着用
	シーリング(覆工コンクリ ート剥落対策)	シーリング材の拡張不足	シーリング材(シーリング用プライマー)が顔 にかかる	○	△	○△	3		防護メガネの着用
プライマー塗布	コンクリート表面水分率確 認	コンクリート水分率が8%以 下であることを確認							
	規定量を計測、十分な攪拌	十分に攪拌されているか							
	プライマー材を塗布	塗むらにきおつける	プライマー材が顔にかかる	○	○	○○	1		防護メガネの着用
不陸修正	規定量を計測、十分な攪拌	十分に攪拌されているか							
	不陸修正材を塗布	凹凸が内容にきおつける							
1層目接着剤下塗り炭素繊維 シート貼り付け接着剤上 塗り	接着材下塗り +(目地部剥落対策)	十分に攪拌されているか	接着材が顔にかかる	○	○	○○	1		防護メガネの着用
	炭素繊維シート貼り付け	気泡が入らないように注意する。ラップ長は100mm以上定着長は覆工巻 厚+200mm=550mm以上とするまた自由長は200mm設ける。							
	接着剤上塗り	十分に攪拌されているか	接着材が顔にかかる	○	○	○○	1		防護メガネの着用
2層目接着剤下塗り炭素繊維 シート貼り付け接着剤上 塗り	接着材下塗り	十分に攪拌されているか	接着材が顔にかかる	○	○	○○	1		防護メガネの着用
	炭素繊維シート貼り付け +(剥落防止シート貼付)	1層目と直交する軸方向に炭素繊維シートを貼付する 気泡が入らないように注意する。ラップ長は100mm以上定着長は覆工巻 厚+200mm=550mm以上とするまた自由長は200mm設ける。							
	接着剤上塗り +(目地部剥落対策)	十分に攪拌されているか	接着材が顔にかかる	○	○	○○	1		防護メガネの着用
表面仕上げ中塗り	含浸接着材の指紋硬化の 確認								
	規定量を計測、十分な攪拌	十分に攪拌されているか							
	中塗り材塗布	均一に塗布	中塗り材が顔にかかる	○	○	○○	1		防護メガネの着用
表面仕上げ上塗り	含浸接着材の指紋硬化の 確認								
	規定量を計測、十分な攪拌	十分に攪拌されているか							
	上塗り材塗布 +(保護塗装工)	均一に塗布	上塗り材が顔にかかる	○	○	○○	1		防護メガネの着用
									工事車両等を取外した場合は専用のケースに 確実に格納し車内に保管する事